

# 2014 年度前期授業アンケートまとめ

## 1. アンケート結果の概要

### 1-1. 実施趣旨と従来との変更点

---

#### 【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が個別に、またはオムニバス科目の担当教員が相互に課題を共有し、授業改善を行うためのデータを得る。
- (2)学部学科としてカリキュラムを改善するとともに、大学として組織的な教育改善に取り組むためのデータを得る。あわせて、教育力の向上を点検するためのデータを得る。
- (3)授業に対する自身の取り組み方について学生の振り返りを促すとともに、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るためのデータを得る。

#### 【従来との変更点】

上記実施目的に大きな変更点はない。

### 1-2. 調査対象

---

今回の授業アンケートの調査対象科目は2014年度前期および夏期・秋期集中開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生とした。大学院生については、各授業担当者により自由記述のみの回答用紙を配布回収し、集計・統計等には反映させないこととした。

### 1-3. 調査期間

---

- 【前期】2014年7月1日(火)～8月1日(金)  
【夏期秋期】2014年8月4日(月)～9月18日(木)

授業時間を15分ほど利用し、学生所有の携帯電話、スマートフォン等より、Web上での回答とした。授業内に回答できない学生については、当日中にPC教室等から回答するよう指示した。なお、回収率(回答者延数/受講者延数)は55.47%であった。

### 1-4. 調査設計

---

調査項目の基本構造については、2013年度後期と同じ内容とした。

- (1)各授業の教育目標についての項目/全科目共通の3項目と各授業で指定した項目
- (2)授業についての自由記述/全科目共通の4項目

授業科目単位の集計結果および学生の自由記述は、教学向上を目的として、授業担当者(オムニバス等の科目については担当者全員)が閲覧し、教員コメントをWeb上から入力する方式とした。なお、データ分析、まとめは授業科目単位で実施し、科目群の加重平均を出すこととした。

## 2. アンケート結果の特徴と傾向

集計は「基礎教育科目群」「教養教育科目群」「資格・キャリア科目群」、および各学科(一部コース)の「専門教育科目群」ごとに行い、加重平均と標準偏差を算出。それぞれ、集計表とグラフを作成した。集計にあたって平均 4.0 以上を青色、3.7 未満を黄色に塗り、前年同期比(13 年度前期)の増減値を記した。なお、全①-2 の設問は集計から除いている。

### 2-1. 科目群別の分析 別紙資料:P1~16

#### 【全体】

- 多くの科目群で「全①事前事後学習の徹底」が低く、課題が残る。
- 全学的には、教養教育科目群での低下が顕著である。
- 全学的には、基礎教育科目群、資格・キャリア科目群が改善傾向にある。

#### 【基礎教育科目群】

「教⑤課題解決能力の獲得」「教⑥論理的思考力の獲得」は+0.11~0.21 ポイントの改善が見られたものの、「全①事前事後学習の徹底」とともに 3.7 ポイントを超えず、引き続き課題である。なお、全体的な傾向は前年と同様であるが、全ての項目で上昇が見られた。

#### 【教養教育科目群】

「教⑤課題解決能力の獲得」が 3.7 ポイント以上に改善。一方、「全①事前事後学習の徹底」「教⑥論理的思考力の獲得」「教⑦コミュニケーション能力の獲得」は 3.7 ポイントを下回った。また、教養教育科目群は 4.0 以上の高い成果につながったものが1項目のみで、特に「全①事前事後学習の徹底」「全②積極的参加」「教⑦コミュニケーション能力の獲得」で、それぞれ-0.20 ポイント以上の大幅な低下が確認され、教育力の改善に大きな課題がある。

#### 【資格・キャリア科目群】

「教④異文化理解力の獲得」が大幅に低下。それ以外の項目については概ね、改善傾向にある。ただし、「全①事前事後学習の徹底」は、3.34 ポイントに留まることから、継続的な課題と言える。

#### 【日本語日本文学科 日本語日本文学コース科目群】

3.7 ポイントを下回った項目のうち、「全①事前事後学習の徹底」は+0.21 ポイントの改善、「日⑤伝統文化への理解」は-0.23 ポイントの低下であった。それ以外は概ね、前年と同様の水準にある。

#### 【日本語日本文学科 書道コース科目群】

「日②日本語による表現・コミュニケーションへの理解」が-0.79 ポイント、「日①日本語・日本文学への理解獲得」が-0.12 ポイントの低下があるものの、それ以外は概ね改善傾向にある。特に「全①事前事後学習の徹底」が 3.7 ポイントを上回り、「教⑤課題解決能力の獲得」「教⑥論理的思考力の獲得」「日③人間や人生の課題への理解」などが+0.30~0.98 ポイントの大幅な改善が確認できる。

#### 【歴史学科科目群】

前年に引き続き、「全①事前事後学習の徹底」に課題があり、それ以外の項目は高い水準にある。

#### 【文化財学科・歴史遺産学科科目群】

前年に引き続き、「全①事前事後学習の徹底」に課題がある。また、「教③価値形成の実現」「教⑤課題解決能力の獲得」「遺④保存活用公開に関する専門的知見の獲得」で-0.22 ポイント以上の大幅な低下が確認される。

#### 【児童教育学科科目群】

前年に引き続き「全①事前事後学習の徹底」に課題があり、その他の項目は概ね、高い水準である。最も大きな変化が見られるのは、+0.28 ポイントの上昇があった「教⑥論理的思考力の獲得」である。

### 【英語コミュニケーション学科科目群】

ほぼ前年同様の傾向で、全項目において 3.7 ポイント以上の高い結果が出ている。特に「全①事前事後学習の徹底」が 3.7 ポイントを上回っており(+0.20 ポイント)、予習復習の指導の結果が確認できる。

### 【現代マネジメント学科 現代マネジメントコース・経営学系科目群】

「教④異文化理解力の獲得」「教⑤課題解決能力の獲得」「教⑥論理的思考力の獲得」「教⑦コミュニケーション能力の獲得」の項目が、前年度より改善し、それぞれ 3.7 ポイントを上回った。その他の項目は概ね前年同様の傾向にあり、「全①事前事後学習の徹底」や「マ④各自の問題意識にもとづいた学修・研究」などの改善は引き続き課題である。

### 【現代マネジメント学科 救急救命コース科目群】

「教③価値形成の実現」「救②教養を高めるための主体的な学修」で-0.62~-1.06 ポイントの大幅な低下が起こり、3.7 ポイントを下回った。ただし、「全①事前事後学習の徹底」は前年に引き続き堅調であることから、学生自身の主体性を喚起する取り組みが必要であると思われる。他にも 4.0 ポイント以上の高い結果を出してはいるが、-0.20 ポイント以上低下した項目が散見され、注意が必要である。

### 【都市環境デザイン学科科目群】

概ね前年同様の傾向で、「全①事前事後学習の徹底」に継続課題があり、その他の項目は高い水準である。

### 【看護学科科目群】

「全①事前事後学習の徹底」が 3.80 ポイントの結果が出ており(+0.20 ポイント)、予習復習のための指導効果が確認される。その他の項目は、前年に引き続き非常に高い水準である。

### 【理学療法学科科目群】

前年と比較して「教⑦コミュニケーション能力の獲得」が+0.39 ポイントと大幅に改善し、一方で「理⑤課題を解決する方法の獲得」が-0.19 ポイントと大きく低下した。その他の項目は概ね前年同様の傾向にあり、「全①事前事後学習の徹底」「教④異文化理解力の獲得」等に課題が残る。

### 【心理学科科目群】

概ね前年同様の傾向で、「全①事前事後学習の徹底」が 3.01 ポイントと他学科と比較しても極めて低い水準が続く。その他の項目は 3.70~4.00 程度と平準的な項目がほとんどを占める。

### 【参考資料】事前事後学習時間についての集計表 別紙資料:P17~18

全②-2 あなたはこの授業について1回あたり平均で何時間学習しましたか。

### 3. 基本データ

#### 3-1. 基本データ

---

時間割開講曜日・開講時限、科目名・クラス、担当者データを選択し、授業登録学生のみ回答できるシステムとした。

#### 3-2. 授業についての選択項目

---

教育目標に沿って授業科目毎に設定された項目について、  
[1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つのみ回答させた。

#### 3-3. 授業についての自由記述項目

---

選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の4つの質問を設定した。

- ① この授業のどの点がよかったですか。
- ② この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③ よくなかった点を改善するためにはどうしたらよいかと思いますか。
- ④ その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

#### 3-4. 回答・集計方法

---

(回答) Web 上で ID/PW の設定を行い、授業登録者のみが該当授業の回答をするように制御した。

(集計) 集計後、授業担当教員が担当科目のアンケート結果を Web 上で閲覧し、コメントや受講者へのメッセージを入力した。オムニバス科目等(複数担当者科目)については、該当教員全員が閲覧でき、コメントを入力できるシステムとした。

#### 3-5. 回答者のプロフィール

---

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

##### 【回収率】

##### 【実施講義数】

適用	
登録者数	37,610
有効回答数	20,862
有効回収率	55.47%

適用		
回答対象講義数	1,015	(3人以上の受講生)
集計対象回答講義数	748	(3人以上の回答数)
実施講義率	73.69%	

(参考: 13 後期 50.81% 前期 63.75% 12 前期 76.95% 後期 79.81% 11 前期 77.85% 後期 76.95%)

\* (有効回答数) = 期間内回答者数

\* (有効回収率) = (有効回答数) / (登録者数)

### 【クラスサイズ別回収率】

回収率 クラスサイズ	100-91%	90-81%	80-71%	70-61%	60-51%	50-41%	40-31%	30-0%	合計
1-10	16	7	13	4	7	8	9	15	79
11-20	0	0	0	18	21	28	16	77	160
21-30	49	60	49	22	0	0	0	0	180
31-40	15	17	21	18	10	9	2	24	116
41-50	15	8	6	7	5	4	0	16	61
51-60	0	1	10	10	8	3	4	8	44
61-70	10	8	0	0	0	0	0	0	18
71-100	14	12	7	20	7	6	8	25	99
101-150	0	1	8	14	6	1	5	7	42
151-	0	1	4	3	7	2	9	7	33
合計	119	115	118	116	71	61	53	179	832

